

# 冬の樹木

その1

## 樹皮と落ち葉

新林公園の代表的な樹木の冬の姿です



**スギ** (スギ科)

樹皮は細く縦に裂けます。



**ヒノキ** (ヒノキ科)

樹皮はやや広幅に裂けます。  
栓皮茸(ひわだぶき)の屋根に  
利用されます。



**コナラ** (ブナ科)

樹皮は灰色で縦に  
裂けます。  
葉の縁には大きな  
鋸歯があります。



**クヌギ** (ブナ科)

樹皮は茶褐色で深く縦に  
裂けます。  
葉は細長く、良い堆肥にな  
ります。

## その2

# 樹皮と落ち葉



### エノキ (ニレ科)

樹皮は灰褐色、葉は上半分に鋸歯があり、左右非対称です。



### ムクノキ (ニレ科)

樹皮は白色縦筋、老木になると縦にはがれます。  
葉には鋭い鋸歯があります。



**アカメガシワ** (トウダイグサ科) 樹皮は白色で網目状の縦縞、葉は大きく、長い葉柄がついています。



### スダジイ (ブナ科)

樹皮は灰色で縦に裂けます。  
葉は常緑で、葉裏は写真のように黄褐色です。

# 冬芽

草木は冬の寒さに備えている工夫を凝らして春を待ちます



**コブシ**  
 (モクレン科)  
 暖かそうな毛皮につつまれています。

**タブノキ**  
 (クスノキ科)  
 紅色の十二単の衣(芽鱗)を着ています。



**クリ (ブナ科)**  
 栗の実にそっくり。



**ゴンズイ (ミツバウツギ科)**  
 つやつやした茶褐色の芽が二つ並びます。



**ミズキ**  
 (ミズキ科)  
 6 - 8 枚の赤い衣をまとっています。

**クマノミズキ**  
 (ミズキ科)  
 同じミズキ属ですがこちらは衣が無く裸(裸芽)です。



**クズ (マメ科)** 葉がおちた痕(葉痕)は動物の顔のようです。